

令和3年度 北区障害者自立支援協議会 年間計画（案）

年間テーマ/主な取り組み

『みんなでつながる北区をめざそう』～地域の社会資源を知る～

月	概要	機関整理シート	原則開催場所
4月	《運営会議》 ・今年度取り組み内容検討		3F301会議室
5月	<全体会議> ・顔合わせ ・今年度の取り組みの内容検討	堺支援学校 西浦支援学校	1F大会議室
6月	《運営会議》 ・児童に焦点を当てた取り組み検討		3F301会議室
7月	<全体会議> ・放デイや子ども食堂の取り組みについて意見交換	VIVO くるみ相談室	1F大会議室
8月	《運営会議》 ・児童の社会資源の把握		3F301会議室
9月	<全体会議> ・児童の社会資源の勉強会（保健師、SSWの参加）	子ども相談所 子育て支援課	未定
10月	《運営会議》 ・指定相談支援事業所連絡会からの課題集約 ・高齢機関との交流会の検討		1F大会議室
11月	<全体会議> ・初旬：区域交流まつり ・高齢機関との交流会	アプリコット堺 浅香山病院	1F大会議室
12月	《運営会議》 ・防災リーフレットの完成 ・地域課題について		1F大会議室
1月	<全体会議> ・地域課題について意見交換	生活リハビリセンター エマリス堺	1F大会議室
2月	《運営会議》 ・今年度の振り返り ・地域課題の整理		3F301会議室
3月	<全体会議> ・今年度振り返り ・次年度取り組み内容の検討	予備	1F大会議室

北区の特徴、地域資源の情報、年間テーマの背景

北区は大阪市内への交通の便利さから、高齢化率は低く就労世帯が多いことで、子育てや介護の問題があっても相談につながりにくく、さらにコロナの影響で地域が希薄化し、課題が顕在化されにくい状況にある。さらに児童にまつわる社会資源が把握できておらず、どことどう連携を取ればよいのかわからないといった意見も出ている。

まずは支援者と関わりがある世帯から状況を把握する（特に指定相談支援事業所から事例を挙げる）ことから課題を共有するとともに、行政機関（子ども相談所、保健センター（保健師）、子育て支援課（家庭児童相談室）、スクールソーシャルワーカー）の役割と、地域の社会資源である子ども食堂や放課後等デイサービスの取り組みを知るといった「地域を知る」ことから始め、地域課題の取り組みへと進めていきたい。